

第57回運営推進会議

看護小規模多機能型居宅介護事業所
るびなす

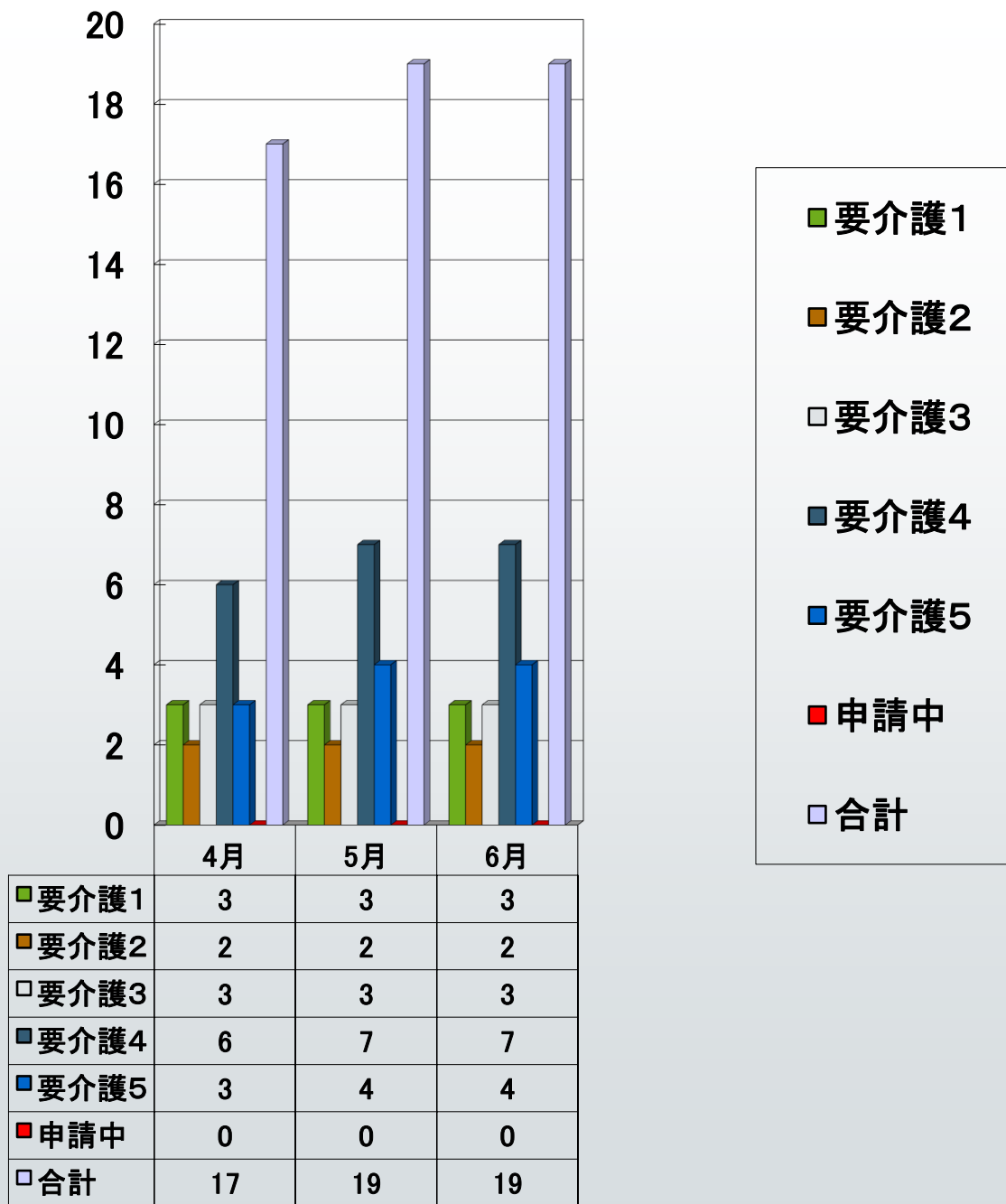
令和5年5月30日

第57回運営推進会議

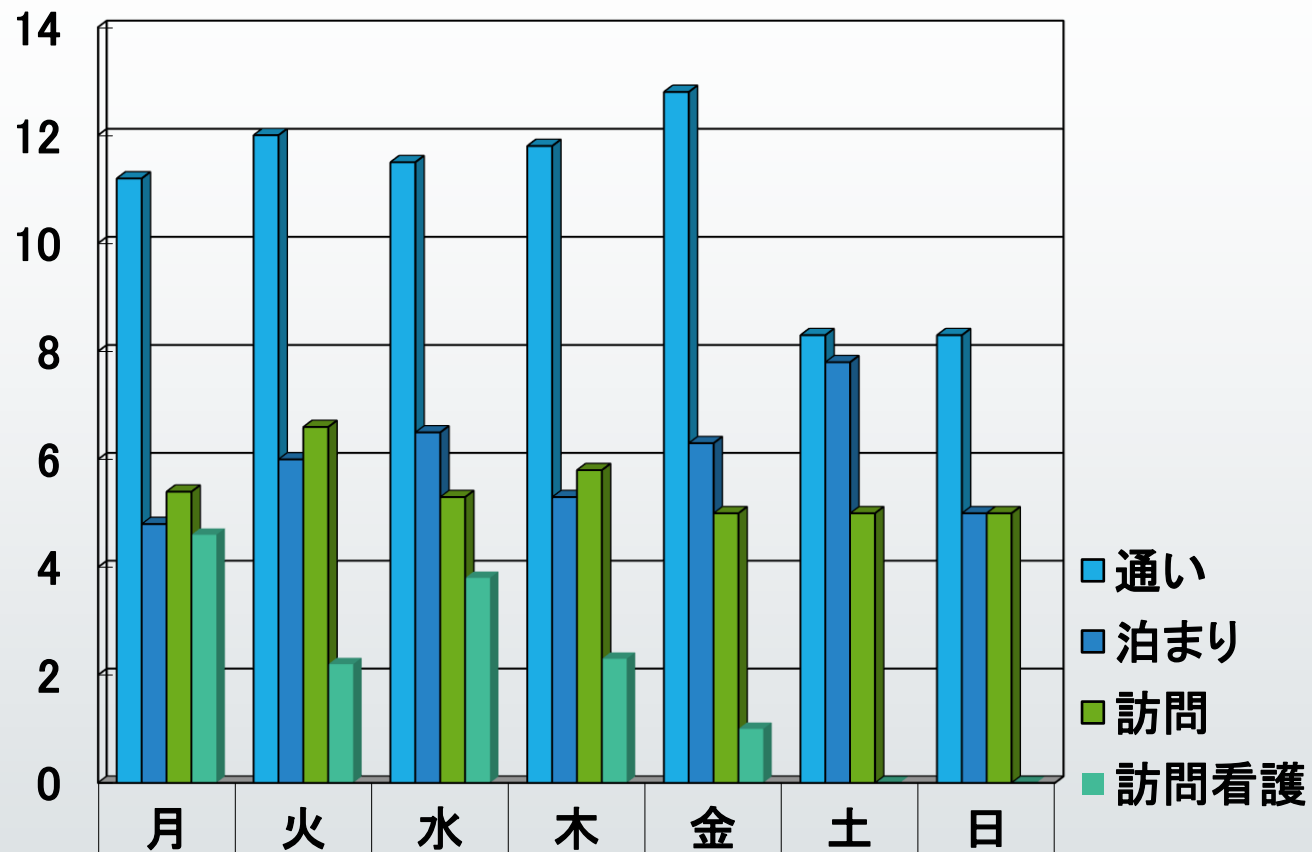
- るぴなすご利用者現況報告
- 新規ご利用者の紹介
- 看取りの報告
- 活動報告
- 事例紹介

登録利用者数 令和5年4月～令和5年6月

6月
平均介護度 3.37
0.17上昇



令和5年5月 曜日別延べ利用者数



■ 通い	11.2	12	11.5	11.8	12.8	8.3	8.3
■ 泊まり	4.8	6	6.5	5.3	6.3	7.8	5
■ 訪問	5.4	6.6	5.3	5.8	5	5	5
■ 訪問看護	4.6	2.2	3.8	2.3	1	0	0

看取りの報告

○M・S様 女性 97歳 要介護3 独居 緑内障による全盲 慢性心不全

H31.1.8利用開始。日中帰宅し自宅で過ごす時間を作り、夜は泊まり利用。帰宅中は、電話や訪問で安否確認、掃除・洗濯、買い物、通院支援。足のむくみは続いていたが、R5.4月、上半身にもむくみ見られるようになり、足のむくみは重くなり動く事が大変になり帰宅できなくなっていた。利尿剤追加。

5/12朝方、血圧低下、浮腫増強、呼吸苦あり、訪問看護、斎藤先生往診。心不全のターミナルで在宅酸素を入れる。酸素が入ってからは少し会話できていた。

5/15朝呼吸状態変化あり、斎藤先生往診、下顎呼吸。東京からご家族（長女の夫）来て下さり状況説明、付き添われる。呼吸の間隔が長くなっていき、ご家族も気付かない程静かに息を引き取られた。



情報共有と支援の標準化

情報共有の方法についての検討

ご利用者の状況に応じた利用方法、支援方法

委員会活動紹介

接遇・マナー 虐待防止・身体拘束適正化

活動方針:寄り添う

寄り添う=相手が何を望んでいるのかを考えながら接し、自分に何が出来るかを考える

目標 心地よく過ごせるみんなの居場所作り

取り組み ■理念の理解 ○理念を意識して勤務することができた

■目標を達成するために、チームで取り組む標語

○挨拶は 目を見て笑顔で 自分から

○るびなすは 何時でも誰でも 丁寧語

○プライバシーは 小さな声で 守ります

○一人称 「わたし」で統一できますか？

■目標を達成するために、今の自分に必要と思われる標語

○

るぴなすの理念

居心地の良さと居場所の良さを提供する

居心地の良さととは家族、居場所の良さととは家

～ご家族の代わりに居心地の良さと居場所の良さを提供する

一人暮らしでも、老齢世帯でも、認知症でも。がん終末期でも、住み慣れた地域で最期を生きることが出来る

そのためには、医療、介護、福祉、行政、住民の連携を図り、ご利用者、仲間、そして自らを大切にする

第57回運営推進会議

看護小規模多機能居宅介護事業所るぴなす

開催日時：令和5年5月30日(火) 18:00～

出席者：高志2丁目自治会役員長・目黒様

地域包括支援センター山潟・小石様

デイサービスご利用者ご家族・高橋様，猪浦様

法人代表・斎藤先生，法人総務・物江，通所介護管理者・遠藤，看護小規模管理者・中村

1、ご利用者現況報告

- ・登録利用者数・・・コロナの影響で亡くなられた方がおられ、登録人数は少ないままになっている。
- ・曜日別利用者数・・・登録数が少ない為、通いも泊まりも余裕がある。訪問数は人数を示しており、一日数回の訪問もあるので延べ回数はもっと多い。訪問加算の月200回を優に超えている。

2 新規ご利用者の紹介

- ・今までのびなすの訪問看護と他デイサービス，ショートステイを利用されていたが、最後のステージ、看取りの場を考えた時に今までのショートステイでは難しく、看取りを含めてご本人，ご家族が自宅を希望されご利用となった。ご本人は利用当初より慣れて来られたようで、穏やかな表情や会話が増えている。

- ・在宅でよく問題となるインシュリン注射。毎日欠かせないがご自分ではできず、ご家族の支援と訪問看護が関わる事になった。利用し始めたばかりで、これから生活しながら必要な支援を相談していく。

3 看取りの報告

- ・何とか自宅で、ご自分の時間を過ごしていた。心不全が改善しなかったが、苦しいと言われる事もなかった。近所の方，自治会の方に見守って頂き、自宅で過ごすことができた。草取り，除雪，雨漏りの対応など沢山ご協力頂き、亡くなられた時も駆けつけて下さった。

4、活動報告

○行事、日頃の様子をパワーポイントで写真を見て頂きながら報告

- ・ 4月・・・桜を見に鳥屋野瀉沿いへ。天気の良い日はできるだけ外出するようにしている。
栗の木公園のつつじと一緒に。パトロールをしていた自治会長さんと一緒に写真を撮った。
- ・ 5月・・・外の花と一緒に。遠くへ行けなくても、天気の良い日はなるべく日光浴をするようにしている。
行事で希望をお聞きし、キラキラマーケットへ。外出の機会の少ない方も出掛けられた。
- ・ 在宅酸素を使っている心不全のターミナルの方。元旦にはコロナに感染、その前から危ない状態が続いているが、毎日お孫様が通って来て下さり愛犬も一緒に来たり、楽しく穏やかに、一日一日過ごされている。帰りたいと希望あり、先日2時間の帰宅を果たした。
- ・ 高志2丁目の除草活動に参加。栗の木側堤防沿い、栗の木公園。大勢でやると早い。
- ・ 町内のご夫婦が、肥料、土にこだわりを持って畑を作り、さつま芋の紅はるかの苗を植えて下さった。皆で縁側から生育を眺め、秋の収穫を楽しみにしている。

5 事例紹介

- ・ その日いる職員が日々異なる為、支援内容をシートにまとめ情報共有し、誰でも同じ支援に入れるよう標準化、またできる事はして頂けるような声かけなど、自立支援にも取り組んでいる。中々入浴して頂けず困っているが、入りたくない理由やその時の声かけ例などもシートにまとめ、全員でお一人の暮らしを支える支援をしている。現在1日6回訪問に入っており、1回10分程の訪問もあり、看多機ならでは。ケアマネ、ケアスタッフがおり、随時変更可能となっている。

6、委員会活動紹介

- ・ 接遇・マナー，虐待防止・身体拘束適正化委員会
- …意識づける為に、チームで取り組む標語，自分自身の標語を掲げ、2か月取り組み評価する。

7 お知らせ

8 その他ご意見等

- ・ 情報共有シート，委員会活動について教えて頂き、現場の事がよくわかって良かった。
→シートは全員分はなく、支援内容が多く細かい場合に、職員が同じケアをできるよう、特に訪問は職員一人なので標準化できるようにしている。日々の生活で内容も変わってくるので、なるべく意向に沿えるよう支援している。
- ・ 父がお世話になり 4月に一周忌をしたが、るぴなすで良かったと皆で話していた。最期の時はきれいな顔で、丁寧に送って頂いた。いつも愛想なくこの会議の写真に写っていたのを思い出す。
- ・ 自治会長様より、「るぴなすと地域で、力を合わせて連携をとりながら、これからもよろしくお願いします。」

おいらせ



6月22日 (木)

避難訓練



9月9日 (土)

るびなす祭り



予告

どうぞ今後ともご支援ご協力をお願いします。

ケアステーションるぴなす スタッフ一同

